

# Tohoku Tiny Drone League 2025 開催要項

2024年12月26日

## 1 趣旨

若年層から一般までドローンに興味関心を持ってもらい、共通のルールのもとで定期的に競技を開催することよりドローン競技の普及と、ドローンの操縦技能・機体製作技術の向上と交流を図る。

## 2 開催期間

2025年1月～12月

## 3 開催場所

2025年シリーズ開催予定地

岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

## 4 運営費用

競技当日の受付時に参加費を徴収する。

運営費用は賞状・賞品代、コース資材費、会場費、保険料、通信費、運営や計測の謝金等とし、各レースで使い切ることとする。

## 5 その他

- ・2025年は室内での TinyWhoop (Whoop 形状のマイクロドローン) に加え U99 のレースも開催する。
- ・U99 のレースは最低3戦程度開催するものとし、レギュレーションは2025年3月中に公表する。
- ・レースごとに成績等によりポイントを付与し、合計ポイントにより年間チャンピオンを決定し、表彰する。ポイントの計算方法については実施規則に記載
- ・レースの開催情報については下記参照のこと



東北ドローンレースコミュニティ

<https://www.facebook.com/groups/947437753072812/>



WTW 秋田

<https://x.com/WTWAKITA>



NPO 法人ソーシャレック HP

<https://npo-social eq.com/drone/>



# Tohoku Tiny Drone League 2025 実施規則

2024年12月26日

## 1 参加資格

レース開催時に年齢が9歳以上であり、アマチュア無線4級以上の国家資格を所持していること。

レースに使用する画像伝送無線機器を運用するためのアマチュア無線局を開局、または社団局に所属していること。

## 2 大会運営

開催県の運営チームが大会進行とジャッジを行う。運営チームと選手は兼ねることができる。

選手はフライト以外の時間は競技補助員として運営を補助する。

## 3 競技規則

(1) 参加者は最大2機まで機体検査の登録をすることができる。

競技に使用する機体は競技者が所有するものとし、他の競技者との共用は認めない。

(2) フライト方法

① ドローンは最大3機同時に飛行を開始しレースを行う。大会は練習ステージ、予選ステージと決勝ステージ(2機同時飛行のトーナメント戦・または開催県が事前に公開した方式)に分かれ、予選ステージは最低1ラウンド最大3ラウンド行う。予選ステージの結果のもと決勝ステージを開催する。

② スタート後のコース内への立ち入りは認めない。機体のトラブルやバッテリー切れなどで飛行の継続が困難となった場合はその時点までの飛行距離を記録とする。

③ 機体が反転し、復旧が困難な場合は競技補助員によるコース上への置きなおしの後、レース継続を認める。置きなおしの時間は競技の時間に含むこととする。

(3) 機体レギュレーションは次のとおりとする。規定するサイズ、重量、バッテリーなどその時々で変化する可能性があるため、1%の誤差は認めるものとする。

① フレームサイズは65サイズとする。使用できるプロペラの最大直径は35mmとする。

② 機体に搭載するバッテリーはリチウムポリマーバッテリー1本とする。  
コネクタの形状は制限しない。充電完了時の電圧が4.35Vを超えないこと。

③ 使用するモーターに制限は設けない。

④ VTX(映像送受信システム)は大会中に周波数をいつでも変更できるようにすること。  
利用する周波数は5705MHz(E1)、5740MHz(F1)、5800MHz(F4)の3チャンネルとし、最大出力は25mWとする。デジタルVTXの使用は認めない。

⑤ FPV映像内に受信された映像で選手を判断できる識別マークの表示をすること。  
識別マークはアマチュア無線のコールサイン、名前やニックネームなどとする。

⑥ プロペラガードの装着は必須とする。プロペラガードよりプロペラが高い位置にあってはならない。プロペラガードが傷ついたり、めくれている場合は利用することができない。

- ⑦ 大会運営、補助員による機体の視認性向上と、観客・イベントの盛り上がりを目的に、機体にLEDの取り付けを義務づける。LEDの取付方法はWHOOP部の全周取付または、長さ20mm以上のPikaTail※1としLEDの発光部が前後方向から視認できるものとする。※1 右図および動画参照のこと



<https://youtu.be/SAL-dREiVLA?si=FuimMSHnzJhfQ1m1>

- ⑧ 2025年シリーズ2戦目以降は、3位以上の成績を収めた選手はLEDのWHOOP部全周取り付けを義務付ける。

(4) 計測方法

TinyViewPlus それに準じた機体から発信される映像信号を利用した方法で計測を行う。



(5) コースの公開

レースレイアウト案は開催14日前までにSNSや「NPO法人ソーシャレック」HP (<https://npo-social eq.com/>) で公開する。

4 ポイント計算方法

- (1) レース後、順位ポイントと追加ポイントを付与する。

①順位ポイント

- 1位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ)
- 2位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ) - 1
- 3位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ) - 2
- 4位 (獲得ポイント) = (参加者人数) × 50% (小数点以下は繰り上げ) - 3
- ⋮
- ⋮

(獲得ポイント) = 1p となった順位以降には選手には1pが付与される。

例1 参加人数12名の場合

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	⋯⋯⋯	12位
6p	5p	4p	3p	2p	1p	1p	1p	⋯⋯⋯	1p

例2 参加人数15名の場合

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	⋯⋯⋯	15位
8p	7p	6p	5p	4p	3p	2p	1p	⋯⋯⋯	1p

②追加ポイント

- ・他県参加ポイント 1P 【居住地以外の県で開催されるレースに参加】
- ・ナイスミドルポイント 1P 【50歳以上の選手】

- (2) ポイントを合計して、年間ランキングと年間チャンピオンを決定する。

各レースの終了後、累積のポイントをNPO法人ソーシャレックHPに公開する。